



2020年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年1月31日

上場会社名 豊田通商株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 8015 URL <https://www.toyota-tsusho.com/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 貸谷 伊知郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 會田 靖 TEL 052-584-5482
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		営業活動に係る利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,060,141	△0.9	164,068	△0.7	184,234	2.2	133,778	6.0	116,588	6.1	116,940	222.4
2019年3月期第3四半期	5,106,013	5.1	165,175	11.7	180,287	0.9	126,252	△1.8	109,844	△3.6	36,277	△83.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	331.35	—
2019年3月期第3四半期	312.16	—

(注) 「基本的1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,686,878	1,443,445	1,262,772	26.9
2019年3月期	4,441,464	1,389,616	1,195,826	26.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2020年3月期	—	60.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	円 銭
通期	150,000	13.1	426.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）Toyota Tsusho Thai Holdings Co., Ltd.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

（注）詳細は〔添付資料〕12ページ「2. (5)（会計方針の変更）」をご参照ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3Q	354,056,516株	2019年3月期	354,056,516株
2020年3月期3Q	2,209,316株	2019年3月期	2,169,311株
2020年3月期3Q	351,859,265株	2019年3月期3Q	351,884,948株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
2. 当社は、2020年1月31日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①経営環境

当第3四半期連結累計期間の世界経済を概観しますと、米国は堅調なもの、欧州・中国の景気低迷等により、全体として減速基調となりました。また、米中対立の長期化等により世界的に景気減速懸念が強まりました。

米国経済は、米中貿易摩擦の影響懸念により企業の設備投資や生産が減速基調となった一方で、雇用環境や個人消費は引き続き堅調に推移し、FRBの利下げ等金融政策が景気の下支えとなり回復基調が継続しました。欧州経済は、個人消費と政府消費が底堅さを維持したものの、製造業の低迷長期化により減速感が継続しました。また、英EU離脱交渉難航等により先行き不透明な状況が続きました。中国経済は、投資主導から消費主導へ経済のリバランスが進む中、減税・補助金等の経済政策で景気下支えを図るも、インフラ投資停滞と消費マインド悪化等により、減速基調が継続しました。また、米国との貿易摩擦の影響継続により、経済成長鈍化が鮮明となりました。新興国経済は、中国経済減速等による輸出減や資源価格低迷等により景気減速傾向が継続しました。

こうした中、わが国経済は、中国経済減速の影響で自動車や鉄鋼を中心に輸出低迷が継続、製造業の生産の弱さが続きました。雇用・所得環境は改善したものの、相次ぐ自然災害や消費増税の影響等により内需が冷え込み、減速基調となりました。また、貿易摩擦や欧州・中国等の海外経済の低迷等により、景気停滞懸念が強まりました。

②セグメント別の事業活動

(I) 金属

インドでの使用済み車両の不法投棄削減と適正処理等を目的に、Toyota Tsusho India Private Limitedとスズキ株式会社のインド子会社であるMaruti Suzuki India Limitedと共に、使用済み車両の解体とリサイクルを行う合弁会社Maruti Suzuki Toyotsu India Private Limitedを、2019年10月に設立しました。

(II) グローバル部品・ロジスティクス

Techno Park Poi Pet Pvt Co., Ltd. は、日系企業のカンボジア進出の支援強化を目的に、Sanco Cambo Investment Group Co., Ltd. と、テクノパーク第二期レンタル工場の業務提携契約を、2019年12月に締結しました。

(III) 自動車

交通渋滞や大気汚染などの社会課題解決への貢献と、より安全・快適な移動価値の提供を目的に、新しいモビリティサービスとしてインド6都市で中・長距離バスアプリサービス「Shuttle(シャトル)」を展開するスタートアップ企業Super Highway Labs Private Limitedに、2019年11月に投資しました。

(IV) 機械・エネルギー・プラントプロジェクト

クリーンで低価格な再生可能エネルギーの普及への貢献と更なる風力発電事業の拡大を目的に、エジプト・アラブ共和国において株式会社ユーラスエナジーホールディングスと共同で建設を進めていた262.5MWの風力発電所の商業運転を、2019年10月から開始しました。

(V) 化学品・エレクトロニクス

株式会社ネクスティ エレクトロニクスは、電子機器の熱・ノイズに関する課題解決および開発期間短縮への貢献を目的に、アルティメイトテクノロジーズ株式会社に2019年8月に投資し、引き続き協業を推進しています。

(VI) 食料・生活産業

パーソナルヘルスデータを活用した健康サポート事業の機能強化を目的に、2019年8月に株式会社M-aidに出資し、同社と業務提携しました。また、次世代型予防医療サービスモデルの構築を目的に、株式会社スギ薬局とも業務提携し、引き続き協業を進めています。

(VII) アフリカ

CFAO SASは子会社を通じて、アフリカにおける自動車販売基盤の強化を目的に、南アフリカの大手自動車ディーラーグループUnitrans Motor Holdings Proprietary Limitedの株式を、2019年11月に取得しました。

③当四半期連結累計期間の経営成績

当社グループの当第3四半期連結累計期間の収益は円高による為替影響等により、前年同四半期連結累計期間を459億円(0.9%)下回る5兆601億円となりました。

利益につきましては、営業活動に係る利益は為替差損益の良化等の一方で売上総利益の減少、販売費及び一般管理費の増加により、前年同四半期連結累計期間を11億円(0.7%)下回る1,640億円となりました。四半期利益(親会社の所有者に帰属)は金属本部において減損に伴い持分法による投資損益が悪化した一方で機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部における関連会社株式売却益による増益等により、前年同四半期連結累計期間を67億円(6.1%)上回る1,165億円となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(I) 金属

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、自動車生産関連の取り扱い減少及び金属資源事業における減損等により、前年同四半期連結累計期間を132億円(47.3%)下回る147億円となりました。

(II) グローバル部品・ロジスティクス

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、前年同期並みの、前年同四半期連結累計期間を2億円(1.1%)上回る191億円となりました。

(III) 自動車

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、海外自動車販売会社の取扱台数減少等により、前年同四半期連結累計期間を34億円(19.7%)下回る138億円となりました。

(IV) 機械・エネルギー・プラントプロジェクト

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、電力事業における関連会社株式売却益及び前期一過性損失の影響等により、前年同四半期連結累計期間を212億円(182.9%)上回る328億円となりました。

(V) 化学品・エレクトロニクス

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、エレクトロニクス事業の利益率低下等により、前年同四半期連結累計期間を31億円(17.4%)下回る147億円となりました。

(VI) 食料・生活産業

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、食料事業における持分法による投資損益の良化等により、前年同四半期連結累計期間を12億円(54.6%)上回る35億円となりました。

(VII) アフリカ

四半期利益(親会社の所有者に帰属)については、自動車販売の増加等により、前年同四半期連結累計期間を53億円(89.8%)上回る112億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産につきましては、有形固定資産で1,507億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2,454億円増加の4兆6,868億円となりました。また、資本につきましては、四半期利益(親会社の所有者に帰属)等により利益剰余金が765億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ538億円増加の1兆4,434億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年4月26日発表の連結業績予想から変更していません。

2. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	465,861	469,443
営業債権及びその他の債権	1,397,937	1,314,769
その他の金融資産	60,525	119,210
棚卸資産	745,157	827,776
その他の流動資産	133,764	143,503
流動資産合計	2,803,246	2,874,702
非流動資産		
持分法で会計処理されている投資	285,074	273,552
その他の投資	454,647	483,654
営業債権及びその他の債権	27,264	27,568
その他の金融資産	40,796	35,487
有形固定資産	612,587	763,230
無形資産	157,278	163,768
投資不動産	18,628	19,048
繰延税金資産	15,973	18,457
その他の非流動資産	25,967	27,408
非流動資産合計	1,638,217	1,812,176
資産合計	4,441,464	4,686,878

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債及び資本の部		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,199,839	1,177,236
社債及び借入金	509,924	532,448
その他の金融負債	15,679	22,415
未払法人税等	24,627	29,470
引当金	6,224	5,937
その他の流動負債	133,762	141,661
流動負債合計	1,890,057	1,909,169
非流動負債		
社債及び借入金	993,122	1,048,817
営業債務及びその他の債務	2,302	82,097
その他の金融負債	20,964	27,543
退職給付に係る負債	41,752	42,785
引当金	26,208	41,273
繰延税金負債	63,661	64,400
その他の非流動負債	13,779	27,345
非流動負債合計	1,161,790	1,334,263
負債合計	3,051,847	3,243,433
資本		
資本金	64,936	64,936
資本剰余金	150,933	151,711
自己株式	△3,596	△3,730
その他の資本の構成要素	50,394	40,190
利益剰余金	933,159	1,009,663
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,195,826	1,262,772
非支配持分	193,789	180,673
資本合計	1,389,616	1,443,445
負債及び資本合計	4,441,464	4,686,878

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
収益		
商品販売に係る収益	5,034,481	4,981,463
サービス及びその他の販売に係る収益	71,531	78,678
収益合計	5,106,013	5,060,141
原価	△4,626,308	△4,583,803
売上総利益	479,705	476,338
販売費及び一般管理費	△311,388	△317,595
その他の収益・費用		
固定資産処分損益	325	1,616
固定資産減損損失	△2,726	△331
その他	△740	4,039
その他の収益・費用合計	△3,141	5,325
営業活動に係る利益	165,175	164,068
金融収益及び金融費用		
受取利息	7,989	10,025
支払利息	△20,082	△22,541
受取配当金	21,478	17,625
その他	864	14,110
金融収益及び金融費用合計	10,249	19,219
持分法による投資損益	4,862	946
税引前四半期利益	180,287	184,234
法人所得税費用	△54,034	△50,455
四半期利益	126,252	133,778
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	109,844	116,588
非支配持分	16,408	17,190
1株当たり四半期利益（親会社の所有者に帰属）		
基本的1株当たり四半期利益（円）	312.16	331.35
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	—	—

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期利益	126,252	133,778
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	264	407
FVTOCIの金融資産	△70,942	17,315
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△937	△168
純損益に振替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	1,197	△5,486
在外営業活動体の換算差額	△19,058	△27,316
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△499	△1,589
税引後その他の包括利益	△89,975	△16,837
四半期包括利益	36,277	116,940
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	22,088	105,524
非支配持分	14,189	11,415

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計
				確定給付制度の再測定	FVTOCIの金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	
期首残高	64,936	150,921	△3,578	—	248,425	△12,961	△105,520	129,943
四半期利益								
その他の包括利益								
確定給付制度の再測定				235				235
FVTOCIの金融資産					△70,758			△70,758
キャッシュ・フロー・ヘッジ						2,016		2,016
在外営業活動体の換算差額							△19,249	△19,249
四半期包括利益	—	—	—	235	△70,758	2,016	△19,249	△87,756
配当金								
自己株式の取得及び処分等		0	△18					
非支配持分の取得及び処分		4						
利益剰余金への振替				△235	420			184
その他								
所有者との取引額合計	—	4	△18	△235	420	—	—	184
四半期末残高	64,936	150,926	△3,597	—	178,087	△10,944	△124,770	42,372

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
期首残高	832,495	1,174,718	187,468	1,362,187
四半期利益	109,844	109,844	16,408	126,252
その他の包括利益				
確定給付制度の再測定		235	0	236
FVTOCIの金融資産		△70,758	△1,093	△71,851
キャッシュ・フロー・ヘッジ		2,016	313	2,330
在外営業活動体の換算差額		△19,249	△1,440	△20,690
四半期包括利益	109,844	22,088	14,189	36,277
配当金	△34,858	△34,858	△13,323	△48,181
自己株式の取得及び処分等		△18		△18
非支配持分の取得及び処分		4	914	918
利益剰余金への振替	△184	—		—
その他			19	19
所有者との取引額合計	△35,043	△34,872	△12,389	△47,261
四半期末残高	907,296	1,161,934	189,268	1,351,202

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計
				確定給付制度の再測定	FVTOCIの金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ	在外営業活動体の換算差額	
期首残高	64,936	150,933	△3,596	—	192,460	△10,226	△131,839	50,394
四半期利益								
その他の包括利益								
確定給付制度の再測定				283				283
FVTOCIの金融資産					17,250			17,250
キャッシュ・フロー・ヘッジ						621		621
在外営業活動体の換算差額							△29,218	△29,218
四半期包括利益	—	—	—	283	17,250	621	△29,218	△11,063
配当金								
自己株式の取得及び処分等		0	△133					
非支配持分の取得及び処分		777						
利益剰余金への振替				△283	1,142			859
その他								
所有者との取引額合計	—	777	△133	△283	1,142	—	—	859
四半期末残高	64,936	151,711	△3,730	—	210,853	△9,605	△161,057	40,190

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
期首残高	933,159	1,195,826	193,789	1,389,616
四半期利益	116,588	116,588	17,190	133,778
その他の包括利益				
確定給付制度の再測定		283	△0	282
FVTOCIの金融資産		17,250	22	17,272
キャッシュ・フロー・ヘッジ		621	△3,020	△2,399
在外営業活動体の換算差額		△29,218	△2,775	△31,993
四半期包括利益	116,588	105,524	11,415	116,940
配当金	△38,728	△38,728	△11,002	△49,731
自己株式の取得及び処分等		△132		△132
非支配持分の取得及び処分		777	△13,518	△12,741
利益剰余金への振替	△859	—		—
その他	△494	△494	△11	△506
所有者との取引額合計	△40,083	△38,579	△24,532	△63,111
四半期末残高	1,009,663	1,262,772	180,673	1,443,445

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	180,287	184,234
減価償却費及び償却費	57,294	76,333
固定資産減損損失	2,726	331
金融収益及び金融費用	△10,249	△19,219
持分法による投資損益 (△は益)	△4,862	△946
固定資産処分損益 (△は益)	△325	△1,616
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△35,642	87,810
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△121,193	△62,086
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	67,150	△51,498
その他	△20,691	△8,561
小計	114,493	204,779
利息の受取額	7,814	9,379
配当金の受取額	38,398	32,331
利息の支払額	△18,198	△20,550
法人所得税の支払額	△56,658	△58,361
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,848	167,578
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	7,455	△53,256
有形固定資産の取得による支出	△45,865	△69,366
有形固定資産の売却による収入	6,504	6,562
無形資産の取得による支出	△9,334	△8,761
無形資産の売却による収入	1,984	425
投資不動産の取得による支出	—	△1,208
投資不動産の売却による収入	4,286	760
投資の取得による支出	△40,263	△16,988
投資の売却等による収入	1,628	23,042
子会社の取得による収支 (△は支出)	△603	△22,717
子会社の売却による収支 (△は支出)	3,941	897
貸付けによる支出	△7,417	△4,992
貸付金の回収による収入	10,167	5,363
補助金による収入	—	9,849
その他	474	290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,041	△130,099

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	60,510	△21,565
長期借入れによる収入	84,836	90,195
長期借入金の返済による支出	△126,307	△62,221
社債の発行による収入	56,132	53,161
自己株式の取得による支出	△20	△134
配当金の支払額	△34,858	△38,728
非支配持分株主への配当金の支払額	△13,323	△11,002
非支配持分株主からの払込みによる収入	1,708	4,952
非支配持分株主からの子会社持分取得による支出	△2,166	△26,380
非支配持分株主への子会社持分売却による収入	137	263
その他	△4,573	△17,737
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,076	△29,197
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	40,884	8,281
現金及び現金同等物の期首残高	423,426	465,861
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,085	△4,699
現金及び現金同等物の四半期末残高	459,225	469,443

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(リース)

当社グループは、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(2016年1月公表)を適用しております。

借手はすべてのリースを連結財政状態計算書に認識する単一のモデルにより会計処理することが求められております。借手は、リースの開始日において、原資産をリース期間にわたり使用する権利を表す資産(使用権資産)とリース料に係る支払義務(リース負債)を認識します。その後、使用権資産から生じる減価償却費とリース負債から生じる利息費用を別個に認識します。

IFRS第16号適用にあたっては、以下の経過措置及び便法を採用しております。

- ・適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。
- ・適用開始日以前に締結したリース取引については、IAS第17号「リース」及びIFRIC第4号「契約にリースが含まれているか否かの判断」を適用してリースとして識別された契約にIFRS第16号を適用しております。
- ・短期リース及び少額リースは、使用権資産及びリース負債を認識しておりません。
- ・適用開始時点において、リース期間を算定する際、事後的判断を使用しております。

また、適用開始日現在の要約四半期財政状態計算書に認識されているリース負債に適用している借手の追加借入利率の加重平均は2.2%であります。

なお、2019年3月31日時点でIAS第17号を適用して開示した解約不能オペレーティング・リース契約に基づく最低リース料総額とIFRS第16号適用開始時に認識したリース負債の差額は13,375百万円であります。これは主にIFRS第16号適用に際して、リース期間の見直しを行ったことによる影響であります。

これにより従前の会計基準を適用した場合と比較し、当期首時点で有形固定資産に含まれる使用権資産が92,878百万円増加、営業債務及びその他の債務に含まれるリース負債が93,004百万円増加しております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの収益、利益又は損失、資産の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					
	金属	グローバル部品・ ロジスティクス	自動車	機械・エネルギー・ プラントプロジェクト	化学品・ エレクトロニクス	食料・ 生活産業
収益						
外部収益	1,324,687	685,015	489,683	713,920	1,111,955	340,430
セグメント間収益	1,470	16,619	7,447	2,313	8,134	420
計	1,326,157	701,635	497,130	716,233	1,120,089	340,851
売上総利益	76,554	57,576	66,326	65,114	80,480	33,522
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	27,922	18,982	17,284	11,605	17,842	2,301
セグメント資産	926,064	388,927	288,609	754,674	732,119	288,667

	報告セグメント		その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	アフリカ	計			
収益					
外部収益	438,004	5,103,696	2,316	—	5,106,013
セグメント間収益	6,259	42,665	649	△43,314	—
計	444,263	5,146,361	2,966	△43,314	5,106,013
売上総利益	102,994	482,570	2,302	△5,168	479,705
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	5,904	101,843	8,044	△43	109,844
セグメント資産	531,244	3,910,307	786,730	△281,433	4,415,604

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ全体の業務支援を行う職能部門を含んでおります。また当欄には、特定の報告セグメントに配賦されない損益も含まれております。
2. 「調整額」は、主としてセグメント間取引額を表示しております。
3. セグメント間の取引における価格については、個別に交渉の上、決定しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	金属	グローバル部品・ロジスティクス	自動車	機械・エネルギー・プラントプロジェクト	化学品・エレクトロニクス	食料・生活産業
収益						
外部収益	1,267,680	662,946	471,831	593,199	1,114,254	330,808
セグメント間収益	1,691	18,841	1,016	4,551	3,100	460
計	1,269,372	681,787	472,848	597,751	1,117,355	331,268
売上総利益	70,643	56,316	63,738	65,201	76,844	34,699
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	14,728	19,186	13,879	32,832	14,742	3,557
セグメント資産	901,223	404,518	301,072	815,216	701,840	298,114

	報告セグメント		その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	アフリカ	計			
収益					
外部収益	615,280	5,056,002	4,139	—	5,060,141
セグメント間収益	44	29,706	1,304	△31,010	—
計	615,324	5,085,708	5,444	△31,010	5,060,141
売上総利益	111,824	479,267	△659	△2,270	476,338
四半期利益 (親会社の所有者に帰属)	11,205	110,132	6,465	△10	116,588
セグメント資産	623,116	4,045,102	919,407	△277,631	4,686,878

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ全体の業務支援を行う職能部門を含んでおります。また当欄には、特定の報告セグメントに配賦されない損益も含まれております。
2. 「調整額」は、主としてセグメント間取引額を表示しております。
3. セグメント間の取引における価格については、個別に交渉の上、決定しております。

2020年3月期第3四半期連結決算概要〔IFRS〕

2020年1月31日

豊田通商株式会社

(単位:億円)

(参考)	四半期推移	1Q	2Q	3Q
	売上総利益	1,586	1,544	1,631
	営業活動に係る利益	556	529	554
	親会社の所有者に 帰属する当期利益	556	235	374

連結経営成績	前年同期	第3四半期 累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
収益	51,060	50,601	▲ 459	▲0.9%
売上総利益	4,797	4,763	▲ 34	▲0.7%
販売費及び一般管理費	▲ 3,113	▲ 3,175	▲ 62	—
その他の収益・費用	▲ 31	53	84	—
営業活動に係る利益	1,651	1,640	▲ 11	▲0.7%
利息収支	▲ 120	▲ 125	▲ 5	—
受取配当金	214	176	▲ 38	—
その他の金融収益・費用	8	141	133	—
持分法による投資損益	48	9	▲ 39	—
税引前利益	1,802	1,842	40	2.2%
法人所得税費用	▲ 540	▲ 504	36	—
当期利益	1,262	1,337	75	6.0%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,098	1,165	67	6.1%
当期包括利益 (親会社の所有者に帰属)	220	1,055	835	377.7%

主な増減要因
<p>【売上総利益】▲34億円 アフリカ本部における自動車販売の増加による増益の一方で金属本部における自動車生産関連の取扱い減少、化学品・エレクトロニクス本部の利益率低下等により減益</p> <p>【営業活動に係る利益】▲11億円 為替差損益の良化等の一方で売上総利益の減少、販売費及び一般管理費の増加により減益</p> <p>【親会社所有者帰属当期利益】+67億円 金属本部において減損に伴い持分法投資損益が悪化した一方で機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部における関連会社株式売却益等により増益</p>

連結財政状態	前期末	第3四半期末	前期末比	
			増減額	増減率
資産合計	44,414	46,868	2,454	5.5%
(流動資産)	28,032	28,747	715	2.5%
(非流動資産)	16,382	18,121	1,739	10.6%
資本合計	13,896	14,434	538	3.9%
有利子負債(NET)	9,884	11,072	1,188	12.0%
D E R (NET)	0.8	0.9	0.1	

主な増減要因
<p>【流動資産】+715億円 ・棚卸資産 +826億円 ・その他の金融資産 +587億円 ・営業債権及びその他の債権 ▲832億円</p> <p>【非流動資産】+1,739億円 ・有形固定資産 +1,507億円</p> <p>【資本合計】+538億円 ・利益剰余金 +765億円 ・FVTOCIの金融資産 +184億円 ・在外営業活動体の換算差額 ▲292億円 ・非支配持分 ▲131億円</p>

連結キャッシュ・フロー	前年同期	第3四半期 累計期間	前年同期比
営業CF	858	1,675	817
投資CF	▲ 670	▲ 1,300	▲ 630
差引:フリーCF	188	375	187
財務CF	220	▲ 291	▲ 511

当期の主な要因
<p>【営業CF】 四半期利益による</p> <p>【投資CF】 有形固定資産の取得による支出及び定期預金の増加</p>

本部別	前年同期	第3四半期 累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
金属	765	706	▲ 59	▲7.7%
グローバル部品・ロジスティクス	279	147	▲ 132	▲47.3%
自動車	663	637	▲ 26	▲3.9%
機械・エネルギー・プラントプロジェクト	172	138	▲ 34	▲19.7%
化学品・エレクトロニクス	651	652	1	0.1%
食料・生活産業	116	328	212	182.9%
アフリカ	804	768	▲ 36	▲4.5%
合計	178	147	▲ 31	▲17.4%
	335	346	11	3.5%
	23	35	12	54.6%
	1,029	1,118	89	8.6%
	59	112	53	89.8%
	4,797	4,763	▲ 34	▲0.7%
	1,098	1,165	67	6.1%

当期利益(親会社帰属)の主な増減要因
自動車生産関連の取扱い減少及び金属資源事業における減損等により減益
前年同期並み
海外自動車販売会社の取扱台数減少等により減益
電力事業における関連会社株式売却益及び前期一過性損失の影響等により増益
エレクトロニクス事業の利益率低下等により減益
食料事業における持分法投資損益の良化等により増益
自動車販売の増加等により増益

連結業績予想	前期実績	当期予想 (10/31公表)	前期比		
			増減額	増減率	
本部別	金属	998	1,020	22	2.1%
	グローバル部品・ロジスティクス	353	260	▲ 93	▲26.4%
	自動車	753	770	17	2.2%
	機械・エネルギー・プラントプロジェクト	237	240	3	0.8%
	化学品・エレクトロニクス	887	920	33	3.7%
	食料・生活産業	227	240	13	5.5%
	アフリカ	898	930	32	3.5%
	売上総利益	187	370	183	97.0%
	営業活動に係る利益	1,075	1,100	25	2.3%
	税引前利益	184	230	46	24.7%
全社	当期利益	439	480	41	9.3%
	親会社の所有者に帰属する当期利益	17	50	33	183.7%
	営業活動に係る利益	1,371	1,410	39	2.8%
	税引前利益	101	110	9	8.7%
	当期利益	6,384	6,630	246	3.8%
営業活動に係る利益	2,151	2,370	219	10.1%	
税引前利益	2,291	2,510	219	9.5%	
当期利益	1,547	1,760	213	13.7%	
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,326	1,500	174	13.1%	

1株当たり配当金	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
中間	45円	50円	60円
年間	94円	100円	120円 (予想)
配当性向(連結)	25.4%	26.5%	28.2% (予想)

主要指標推移			前年同期 (前期末)	第3四半期 累計期間
為替	円/米ドル	平均	111	109
		期末	(111)	110
金利	円/ユーロ	平均	129	121
		期末	(125)	123
ドルTIBOR3M平均	米ドルLIBOR3M平均	0.07%	0.07%	
		2.43%	2.21%	
トハイ原油(米ドル/bbl)		72	63	
シゴコン(セント/Bushel)		369	387	

※上段:売上総利益、下段:親会社の所有者に帰属する当期利益